

母校と卒業生同士をつなぐ

校友タイムス

Koyu Times
vol.448

校友会も共に歩まん

祝 学園創立100周年



CONTENTS

全国支部交歓会 in 大阪

校友ハツラツ女子

私たちの“支部”自慢

校友スポットライト

and more...

本部理事会報告



新役員の選出

今回は新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、対面とオンラインによるハイブリッド開催とし、代理出席者等を含め総勢80人が出席しました。報告事項では、理事の選出（会長推薦15人、学校別校友会10人、支部75人、計100人）、支部に対する援助金内規の改定、オンラインイベント「常翔校友の日2021」の開催報告、今年度の全国支部交歓会の

今年度の理事会はハイブリッド形式にて開催され、全国から対面31人、オンライン33人、合計64人の理事が出席。任期満了に伴う役員改選が行われ、新会長に溝口浩氏が選出されました。

役員改選を実施 会長に溝口浩氏（工大A1981）を選出

開催案内があり、全て了承されました。続いて審議事項に入り、前年度

あり、全て承認されました。新役員の選出については、会長・監事候補者は今年1月に行われた役員候補者選考委員会にて選考、会長に溝口浩氏、監事に現職の3氏が報告され、全会一致で承認。溝口新会長より、副会長3人、顧問、相談役、参与の推薦、出納長、事務局長の任命がおり、全て承認されました。

学園創立100周年を祝う

今年度の運営方針・会計予算審議では、学園創立100周年記念募金に3000万円の寄付、および700万円規模の防災関連用品（ガス発電機・大型扇風機・携行用浄水器・LEDバルーンライト・防災ベンチ）の寄贈についての提案、続いて今年4月施行の改正個人情報保護法に係る会則の改正についての提案があり、全て承認されました。

意見交換会

意見交換会は、「コロナ禍での支部運営」をメインに行われ、成功例どし



2022年度 学園校友会会計予算 (2022年4月1日～2023年3月31日)

■ 収入の部

款	2021年度予算	2022年度予算	比 較
援 助 金	53,000,000	53,000,000	0
諸 収 入	1,490,000	6,535,000	5,045,000
繰 入 金	12,000,000	49,000,000	37,000,000
合 計	66,490,000	108,535,000	42,045,000

■ 支出の部

款	2021年度予算	2022年度予算	比 較
本 部 費	19,730,000	20,710,000	980,000
組 織 費	10,534,000	12,941,000	2,407,000
事 業 費	3,150,000	18,500,000	15,350,000
広報渉外費	7,867,000	8,085,000	218,000
青 年 部 費	845,000	2,160,000	1,315,000
交 付 金	12,130,000	12,287,000	157,000
寄 付 金	10,000	30,000,000	29,990,000
予 備 費	500,000	500,000	0
諸 支 出 金	11,724,000	3,352,000	△8,372,000
合 計	66,490,000	108,535,000	42,045,000

2021年度 学園校友会会計決算 (2021年4月1日～2022年3月31日)

■ 収入の部

款	予 算	決 算	比 較
援 助 金	53,000,000	53,000,000	0
諸 収 入	1,490,000	2,068,828	578,828
繰 入 金	12,000,000	10,000,000	△2,000,000
合 計	66,490,000	65,068,828	△1,421,172

■ 支出の部

款	予 算	決 算	比 較
本 部 費	19,730,000	15,535,451	4,194,549
組 織 費	10,534,000	5,535,000	4,999,000
事 業 費	3,150,000	3,114,168	35,832
広報渉外費	7,867,000	5,611,416	2,255,584
青 年 部 費	845,000	12,754	832,246
交 付 金	12,130,000	12,130,000	0
寄 付 金	10,000	0	10,000
予 備 費	500,000	0	500,000
諸 支 出 金	11,724,000	23,130,039	△11,406,039
合 計	66,490,000	65,068,828	1,421,172

新会長挨拶



会長 溝口 浩

2022年度理事会でご承認いただき、会長職を拝命しました溝口 浩（大阪工業大学建築学科1981年卒）でございます。泉大津市在住で昨年泉州支部長を拝命しました。よろしくお願ひいたします。

さて、ここ数年コロナ禍により支部総会が開催できなくなる等、大きな影響を受けました。そのような中でも今年7月には総会・全国支部交歓会を地元大阪で開催する事ができ、新たな行事再開の機運が生まれています。

青年層への発信を意識し、対面を基本としながらも「オンライン」も活用することで、柔軟に参加できるよう促すほか、援助金のあり方についても改善し、支部活動をサポートしてまいります。

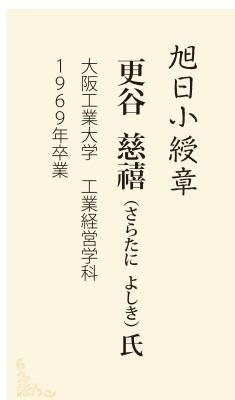
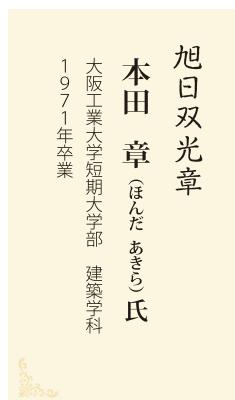
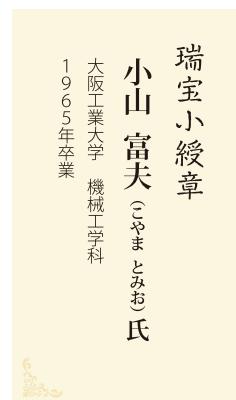
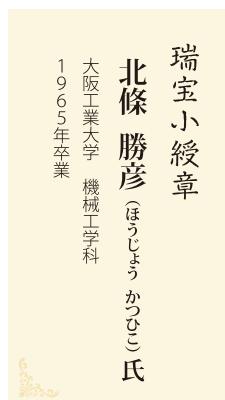
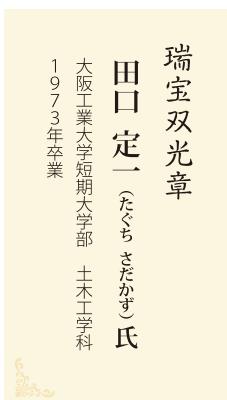
また、本年は学園の創立100周年の記念の年にもあたり、校友会としても本格的な支援を進めています。校友各位の現役学生支援への募金をよろしくお願ひいたします。会員の皆様との連携を図りながら、次の世代へバトンタッチできる持続可能な校友会活動を目指し、粉骨碎身努力してまいります。皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

受章された皆さまへ心よりお慶びを申し上げ、各氏をご紹介いたします
(判明分のみ順不同で掲載)



祝 叙勲 受章者

2022年春の叙勲



学園トピックス >>> 常翔学園創立100周年記念コンサートのご案内

常翔学園が今年10月30日に創立100周年を迎えるにあたり、記念イベントの一つとして、昨年11月から隔月で「常翔学園創立100周年記念コンサート」をOIT梅田タワーの常翔ホールで開催してきました。毎回趣向を凝らした内容で今年7月までに計5回開催しており、9月には「常翔学園創立100周年＆ロビーコンサート5周年記念」を、そして11月13日には最終回となる「常翔学園吹奏楽演奏会」を開催します。11月開催の演奏会は学園が設置する3大学・2中高の学生・生徒によるもので、まさに集大成と呼べる内容となっています。ぜひ、現役生たちが奏でるフレッシュで生き生きとした演奏を楽しむのはいかがでしょうか。

■開催日時 常翔学園創立100周年＆ロビーコンサート5周年記念
2022年9月10日(土) 12:00～14:30

常翔学園 吹奏楽演奏会
2022年11月13日(日) 13:30～17:00

■参加費 無料(学園へご寄付をいただいた方に優先枠がございます)

■申込方法 学園創立100周年記念サイトからお申し込みください。
<https://www.josho.ac.jp/100th/event/>

■申込期間 8月26日(金) 17:00まで

※各イベントは、事前申し込みが必要です(入場無料)。
申込者多数の場合は抽選を行います。



全国支部交歓会 in 大阪

2022年7月2日(土)

ホテルニューオータン大阪 鳳凰の間

内山前会長に感謝状を贈呈



総会では、今年5月に新任された溝口会長から就任挨拶と運営方針などの説明がありました。続いて本会の会長を5期10年務められ、今春勇退された内山喬之氏に対して感謝状と記念品の贈呈を行いました。



記念品はお名前と日付を刻印したクリスタル製の切子グラス。内山氏から「10年前の大会で庄司前会長(故人)へ感謝状を渡したこと覚えており、非常に感慨深い。今まで支えていただいた全ての方に感謝を申し上げたい」との謝辞とともに、感謝の気持ちを込めた贊助金を溝口会長に手渡されました。今後は相談役として大所高所からご指導をお願いします。

おかえりやす！ 学園の100周年を皆で祝う



近畿地方では統計開始以来最も早い梅雨明けとなり、たつたの14日間という梅雨期間も最短記録を更新しました。途端に厳しい暑さが続くなか、多くの校友が待ち望んだこの日が遂にやってきました。2022年7月2日(土)

3年振りの総会・全国支部交歓会をホテルニューオータン大阪で開催。同ホテル最大の宴会場となる鳳凰の間に

総勢528人が全国から参集しました。「母校学園の創立100周年を皆で祝おう」という気持ちが一つになり、記念講演会や現役学生による演奏、お楽しみ抽選会などで盛り上がった思い出に残る大会となりました。

記念講演会は「常翔学園高校ラグビー部の歴史」



新旧会長が笑顔でツーショット

第2部では、常翔学園高校ラグビー部監督の野上友一先生による講演会を開催。同校ラグビー部は、今年の正月に花園100勝を達成したばかりで、学園の創立100周年とともにまさに記念すべき年となります。1937年、

第3部は全国支部交歓会。芝本事業部長によるユーモア溢れる挨拶と声高らかな開会宣言でスタートしました。溝口会長から「ようこそ大阪へ！旧交を温めながら、この貴重なひとときを存分に楽しんでいただきたい。今回は学園の創立100周年をお祝いするという大きな意味を込めて開催した。コロナ禍で当初は不安な思いもあつたが、このように盛大に開催することができ、皆様に感謝したい」という挨拶のあと、学園来賓を代表して西村泰志理事長からは交歓会開催に対する祝辞と内山前会長に対しても

の労いのお言葉、溝口会長へは学園校友会のさらなる発展

前身の関西工学校にラグビー部

が誕生。1963年に故・荒川

先生が大阪工大高校ラグビー

部監督に就任され、1976年

の佐賀国体で初優勝、1977

年度の全国高校ラグビー大会

優勝から躍進が続きます。

「おまえのやっていることは間違

いないから頑張ってやれ」という荒川先生の言葉を胸に思

いを引き継ぎ積み上げてきた花園100勝は、生徒が頑張つ

た成果だと強調されていました。

「3月で定年退職だが常

翔ラグビーには関わり続けたい」と思わず本音も。同部へ

の並々ならぬ愛情が伝わってきました。



への期待を寄せられたほか、学園のスケールメリットの活用や100周年募金・イベントなどの紹介がありました。

また、ご挨拶前に学園100年の変遷を紹介した短編動画が上映され、多くの参加者にとって懐かしい校舎などが映し出されました。学園校友会は学園創立100周年を記念した独自の事業として、防災関連用品の現物寄付および同記念募金に賛同するという趣旨で3千万円の現金寄付実施を理事会で決定していました。防災関連用品は昨今の各種災害や今後の大規模地震への対応のため、工大と常翔中高の各キャンパスに設置して少しでも役立てていただきたいとの思いからです。この日は、溝口会長から趣旨説明と学園の西村理事長に対して目録の贈呈式を執り行いました。



今回の幹事支部を代表して大山八尾・柏原支部長から「幹事4支部で昨年の秋から開催の可否を含めて検討を重ねてきたが、本日このように多くのご参加を得て盛大に開催地することができた。皆様お帰りなさい」と歓迎の挨拶がありました。いよいよ乾杯。中田副会長が威勢よく発声し開催されました。

宴。ホテル自慢のフランス料理フルコースに舌鼓を打ちながら、久しぶりの再会を楽しみました。今回のアトラクションは、工大ウインドアンサンブルによる演奏。今年度のコンクール課題曲や懐かしの「青い山脉」、工大の大学歌を演奏いただきました。MCまでしっかりと学生が担当し頼もしく感じました。そして、お待ちかねの抽選会はロボット掃除機や空気清浄機など合計30万円相当の賞品を用意。芝本事業部長と司会者の絶妙な掛け合いで進行し、関東や東北からの参加者を含め5人の方が幸運をつかみ取りました。青年部による支部紹介に続いて、来年度の開催地として九州・福岡市が発表され熊手が引き継がれました。地元福岡県支部・中島支部長からは「来年も今年同様多く



次回は福岡市で開催!!

福岡県は小倉祇園太鼓、博多祇園山笠など祭りが大変盛んで、太宰府天満宮、吉野ヶ里遺跡など見所も満載。福岡県支部と北九州支部が幹事となり皆さんを歓迎します。開催時期は、近年の台風、豪雨、猛暑による環境を勘案し、秋に変更します。

- 開催日: 2023年11月18日(土)
- 会 場: ホテルニューオータニ博多



先輩の皆さん、練習の成果をぜひ聴いてください！

最後に堀井副会長から「コロナ禍でも常翔学園は負けていない。多くの皆さんに参加いただけているのは100年の歴史がある学校だからだ」と閉会の挨拶があると、本日一番大きな拍手があり幕を閉じました。



青年部が盛り上げてくれた恒例の支部紹介



芝本事業部長の神の手が幸運を引き寄せる

幹事会

役員改選で池田隆治会長を選出

2022年5月13日(金)に開催した第1回幹事会にて役員改選が行われ、会則に基づく役員選出委員会での選考結果として、会長に池田隆治氏、監査には松島保氏と堀内秀悟氏をそれぞれ選出した旨の説明があり、全会一致でこれを承認しました。

新会長挨拶



大阪工業大学校友会
会長 池田 隆治

このたび工大校友会の会長を拝命しました池田隆治(機械工学科1985年卒)です。常翔学園校友会の本部役員の他、地域支部の副支部長を担っています。溝口浩前会長よりご推挙いただき大変重責であります。学内OBとしてお受けいたしました。工大校友会では、総務部長や第二事業部長としてホームカミングデーなどに参画し、溝口会長の下では、総務部・学生支援部管掌の副会長を務めました。また、長年参加している出身学科同窓会では現在、会長を拝命しています。これらで得た経験を今後の組織運営に活かす所存でございますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、2022年は、学校法人常翔学園が創立100周年、工大校友会は、学士会として発足以来70周年の年にあたります。コロナ禍により限られた記念事業を種々計画していますので、大阪工業大学の卒業生として母校愛を持って直接または間接的にできる限りのご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

ホームカミングデー開催のご案内

卒業生相互の親睦を深め、母校の“今”を知っていただく機会として「ホームカミングデー」を3年ぶりに開催します。
懐かしいキャンパスに帰り、母校との絆、校友との絆を確かめましょう!



大宮キャンパス

開催日: 2022年10月22日(土)
会場: 大阪工業大学 大宮キャンパス(大阪市旭区大宮5-16-1)
内容: 歓迎セレモニー、講演会、キャンパス内自由見学など
※大阪工業大学校友会総会を同時開催します
会費: 無料(事前申込要)
申込方法: 詳細は大阪工業大学校友会ホームページまたは同封のチラシ(対象者にのみ同封)をご参照ください。

[大阪工業大学校友会 ホームページ](https://kodai-koyukai.jp/) ▶▶▶ <https://kodai-koyukai.jp/>

枚方キャンパス

開催日: 2022年11月3日(木・祝)
会場: 大阪工業大学 枚方キャンパス(枚方市北山1-79-1)
内容: 北山祭(大学祭)・Oh!ITカーニバル見学、抽選会など
※情報科学部同窓会「北山会」総会を同時開催します
会費: 無料(事前申込要)
申込方法: 詳細は大阪工業大学情報科学部同窓会「北山会」ホームページ
または同封のチラシ(対象者にのみ同封)をご参照ください。

[大阪工業大学情報科学部
同窓会「北山会」ホームページ](http://kitayama.koudai-kai.jp/) ▶▶▶ <http://kitayama.koudai-kai.jp/>

【ご注意】開催当日、大阪府に緊急事態宣言もしくはまん延防止等重点措置が発令されている場合、または城北祭・北山祭の開催方針によっては「開催中止」とすることがあります。
最新の情報については各ホームページにてご案内します。

お知らせ 大宮でのホームカミングデー前日の10月21日(金)17時30分より、工経会(大阪工業大学B科同窓会)による記念コンサートを学園・OIT梅田タワー「常翔ホール」で開催します。詳細は工経会ホームページ【<http://koukeikai.sakura.ne.jp/wp/>】をご覧ください。

常翔学園中学校・高等学校校友会

役員研修会

田代校長との充実した意見交換が実現



田代校長
2022年4月23日(土)、「中高校友会の活性化について」というテーマで役員研修会を開催しました。まず、高野会長より校

友会の歴史や組織図について説明がありました。役員改選に伴い4月より新体制となりましたが、新役員の皆さんに校友会という組織について理解いただく良い機会となりました。また、学校より田代校長、根来校長補佐、大谷教頭にお越しいただき、校友会役員と意見交換を行いました。今年は常翔学園の創立100周年、中高校友会の創立60周年の節目の年となります。コロナ禍で同窓会などの行事が開催できていませんが、学校の協力も得ながら行事の再開に向けて準備を進めています。



今後の行事予定

2022年8月27日(土) 合同クラス同窓会

2022年10月29日(土) 総会・懇親会

2023年1月9日(月・祝) はたちの集い

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催できない場合があります。

研修会

古都で見聞を深め風情を満喫

2022年5月29日(日)、新型コロナウイルス感染拡大以降初となる研修会を開催しました。出席者は14人。

まずは、京都市京セラ美術館で開催されている「ポンペイ展」を見学。西暦79年のヴェスヴィオ山の噴火により、一瞬にして地中に埋まってしまったポンペイ。そこから発掘された、壁画や彫像、工芸品などたくさんの実物を前に、約2000年前に繁栄した都市とそこにいた住民たちの息吹を実感することができました。

しっかりと知見を深めた後は、古都の風情を感じながら京都市勧業館「みやこめつせ」へ、てくてくと移動。昼食はレストラン「GRILL TERRACE ABURU」にてバーベキューをいただくことに。天気も非常に良く、外で食べるご飯はまた格別。本会らしく和気あいあいと非常にアットホームな時間を過ごすことができました。瞬く間に時は過ぎ、名残惜しくも解散の時間となりましたが、3年ぶりの行事は一様に満足いただけたようで、次回のイベントでの再会を誓いました。



高専会



「五年会」ゴルフコンペ

愛好家12人が難コースにチャレンジ

前回は昨年の10月21日に25人の参加を得て開催しましたが、今回は12人の参加と少し寂しい大会となりました。このコースは日本でも有数な距離と広さを誇る丘陵コースで、上級者やチャレンジャー向けのタフなコースとして知られています。

午前9時30分過ぎに1組目がアウトコースをスタートしましたが、案の定ハーフを回るのに3時間近くかかりました。昼食後、インコースをスタート。こちらも3時間近くかかり、午後4時半過ぎにプレイ終了。午後5時からの懇親会で成績発表を行い、チャンピオンコースを上手く攻略した津田勉氏(C1968)が見事優勝しました。

開催日: 2022年4月19日(火)

開催場所: 兵庫県加東市

東条の森カントリークラブ(東条コース)

参加人数: 12人



総会・懇親会

会長に増田宏韶氏を再選



2022年5月28日(土)に43人の同窓生が集い、大阪工業大学梅田キャンパス・OIT梅田タワー「リストランテ翔21」で総会・懇親会を開催しました。

定刻午後6時に佐藤幹事長(E1967)の司会で総会が始まり、殿村孝氏(C1968)を議長に選出し議事に入りました。

増田会長の挨拶、事業・活動報告、築山会計の決算報告、中田監事の監査報告があり、全て承認されました。また、会計年度の変更に伴う会則変更も承認されました。続いて役員改選が諮られ、増田宏韶氏(E1967)を会長に、乾邦彦氏(C1974)と中田好男氏(A1978)を監事に再任し、増田会長より新役員の紹介があり総会を終了しました。

午後6時30分から荻田摂南大学学長、溝口常翔学園校友会長はじめ7名の来賓を迎えて記念撮影ののち、懇親会に入りました。アクリル板越しでしたが、2時間あまり懇親を図り、「高専校歌」を齊唱して、村田相談役の謝辞で御開きとなりました。



校友ハツラツ女子

キラキラ輝く女性校友にインタビュー!! 今回は、常翔学園高等学校の卒業生で、JR西日本に勤務する古賀美果子さんにご登場いただきます。懐かしい母校で、高校時代の思い出や現在の仕事、将来の夢などについてうかがいました。



hatsuratsu

Q 現在の仕事について教えてください。

西日本旅客鉄道株式会社で車掌をしています。現在は大阪環状線やおおさか東線、JR学研都市線などに乗務。車掌の仕事は、列車の発着時におけるホームの安全確認とドアの開閉、車内放送、車内巡回、お客様対応など、多岐にわたります。いつもきめ細やかなサービスを心がけ、お客様を安全・快適に目的地までお運びすることができます。私は課せられた重要な役割。車掌になつてまだ1年半とキャリアが浅く、不慣れなことが多いのですが、先輩たちの姿勢に学び、心優しい同期たちに支えながら経験を積んでいます。やりがいを持つて日々の業務に取り組む中で、励みになっているのは、お子様たちとの触れ合い。制服姿の私を見て「かっこいいね」と声をかけてくれたり、ホームから手を振ってくれることがあるんです。お礼の気持ちを込めて、車掌カバンに常備している電車シールを手渡すと、「ありがとうございます」と笑顔を返してくれ、とても元気をもらいます。電車や車掌の仕事に興味を持つてくれていることをうれしく思うと同時に、お子様たちの憧れの職業に就けている自分を誇らしく感じ、仕事への意欲が高まります。

Q 西日本旅客鉄道株式会社に入社したきっかけは何ですか。

実家の目の前が線路で、電車のある風景が当たり前の環境で育つこともあり、幼い頃から電車が好きでした。でも、当時から車掌に



吹奏楽部顧問の上野先生と共に

生の6月に、頑なだった夢への思いが揺らぎ始めました。新卒での一般企業への就職は、人生の中で今しか経験できないこと。本当に教員の道を選択して後悔はないのだろうかと。友達に相談すると「あなたが本当に好きなことは何?」と問われ、頭に浮かんだのが電車でした。教員には再チャレンジもできるし、一度は広い視野で社会を見た方が自分にとってプラスになると考え、西日本旅客鉄道株式会社に応募し、無事入社することになりました。

Q どのような高校時代を過ごしましたか。

なりたいと思っていたわけではなく、大学4年生までは常翔学園高校の家庭科教員になろうと決めていました。高校時代に出会った先生方に、大変親切にしていただきことで母校への愛情が深まり、「絶対に常翔学園高校へ戻りたい」という気持ちが強かつたからです。ただ、これもすぐに決まった訳ではなく、教員を選ぶとしても得意な教科はないし……と、将来についてあれこれ思い悩み、卒業後の進路がなかなか決められませんでした。そんなとき、私の背中を押してくださったのが、2・3年生の時の担任の先生です。「迷うなら、ひとまずは大学に行きなさい」とアドバイスをいただき、料理好きな一面も活かそうと、教員免許と調理師免許が取得できる梅花女子大学食文化学科に進学しました。大学時代はひたむきに目標と向き合い、寸暇を惜しんで学業に励みました。ところが、教育実習と就活面接が重なる4年

吹奏楽部に入部して、人生で初めてトランペットを手にし、みんなの足を引っ張らないようにと必死に努力を重ねていました。毎朝6時過ぎには登校して朝練前のウォーミングアップを始め、夕方の部活動が終わってからも自主練習に取り組んでいたので、12時間は学校にいる毎日。日曜日も休まず、部活一色の3年間を過ごしました。はじめで不器用な性格なので、こつと決めたらまつじぐり。自分で自分を追い込みすぎて疲れてしまふこともあつたのですが、心根の優しい仲間たちに幾度となく救われ、辛さを乗り越えることができました。すばらしい演奏ができた時の感動も、吹奏楽を続ける原動力になっていたと思います。また、私が3年生の時に顧問に就任された上野洋平先生の存在も大きかったです。褒めて伸ばす、ご指導のおかげで、わずか半年で自分で



常翔学園高等学校 普通科(文理進学コース)

2014年3月卒業

古賀 美果子さん(こがみかこ)

2018年に梅花女子大学食文化学科を卒業後、西日本旅客鉄道株式会社に入社。駅係員の仕事を3年間担当し、2021年より車掌として京橋車掌区に勤務。大学時代は箕面市青少年吹奏楽団に所属し、トランペット奏者として活躍。



将来は新幹線の運転士になりたいと思っています。夢を叶えるには、車掌業務以外にも幅広く経験を積み重ねなければなりませんし、知

Q これから目標や夢を教えてください。

Q もしも今、常翔学園高等学校で家庭科の教員をしていたら、

毎日、授業のことで頭がいっぱいになつていて、のではないでしょうか(笑)。理想像としては、生徒たちの悩みや不安に寄り添い、親身になつて相談に乗つてあげられる先生なのです。先輩としてメッセージを送るなら2つあります。ひとつは、友達やそばにいてくれる人を大事にしてほしいということ。もうひとつは、今は自分の夢や将来が具体的に描けなくても、先生の言葉通り、焦らなくても、人生はなんとかなるのですから。

こぼれ話

吹奏楽部の仲間たちは、今も時々集まって近況報告をするという古賀さん。大阪府の北地区大会で金賞を受賞した裏には、実はこんなエピソードもあったと教えてくれました。「大会当日の朝、部室の掃除をしてから会場入りしようとメンバーに提案すると、みんなそれに乗ってくれ、練習より掃除を優先したら、肩の力が抜けて思いがけず金賞が取れたんですよ。吹奏楽は技術力だけではなく、心のゆとりや人の輪が大事なのだとということを学びました」。

Q 学業に対してはどのように取り組んでいましたか。

部活動と同様に、勉強も「コツ」「コツ」とまじめにがんばっていました。例えばテスト勉強では、山を張らずに一からすべて頭に叩き込まないと安心できないタイプ。しんどくて弱音を吐き

きました。折に触れて先生方が投げかけてくださった言葉は、今も私の胸に深く刻まれています。なかでも、上野先生が口癖のように言っていた「あせらず ゆっくり こつこつ」とは、壁にぶつかるたびに思い出す言葉。私の座右の銘と言えるかもしません。

識習得のための勉強も必要です。その道のりは長く険しいかもしませんが、強い信念を持つて挑戦していきます。



気も変わり、高校最後の大坂府吹奏楽コンクール北地区大会で初めて金賞を受賞し、府大会にも出場することができました。努力は決して無駄にはならないこと、一人ではできないこともみんなで力を合わせれば成し遂げられること、仲間には常に感謝の気持ちを持つことなど、部活動から得た学びは、私の礎となっています。

そうになつても、みんなは私以上にしんどいことをやつしているはずだと思い、手を抜くことができませんでした。とりわけ、中学時代から苦手だった教科が英語でした。「克服したい」と英語の先生に相談したところ、「毎日、3行の英語日記を綴つてみでは?」と勧められ、1年間ほど先生と交換日記をしたことも。私の学びたい気持ちに応えてくださる先生方に出会えたことで、前向きに学業に取り組むことができました。折に触れて先生方が投げかけてくださった言葉は、今も私の胸に深く刻まれています。なかでも、上野先生が口癖のように言っていた「あせらず ゆっくり こつこつ」とは、壁にぶつかるたびに思い出す言葉。私の座右の銘と言えるかもしません。

英語日記を綴つてみでは?」と勧められ、1年間ほど先生と交換日記をしたことも。私の学びたい気持ちに応えてくださる先生方に出会えたことで、前向きに学業に取り組むことができました。折に触れて先生方が投げかけてくださった言葉は、今も私の胸に深く刻まれています。なかでも、上野先生が口癖のように言っていた「あせらず ゆっくり こつこつ」とは、壁にぶつかるたびに思い出す言葉。私の座右の銘と言えるかもしません。

英語日記を綴つてみでは?」と勧められ、1年間ほど先生と交換日記をしたことも。私の学びたい気持ちに応えてくださる先生方に出会えたことで、前向きに学業に取り組むことができました。折に触れて先生方が投げかけてくださった言葉は、今も私の胸に深く刻まれています。なかでも、上野先生が口癖のように言っていた「あせらず ゆっくり こつこつ」とは、壁にぶつかるたびに思い出す言葉。私の座右の銘と言えるかもしません。

関東支部

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県の1都6県に在住する校友で構成される関東支部。関西以外では最大の会員数を誇る同支部ならではの工夫された活動について、支部長の渡辺さんにお話しを伺いました。



関東支部 支部長 渡辺 哲尾さん
(大阪工業大学 応用化学科 1978年卒)

関東支部の現況

関東支部は1961年に設立され、2021年には60周年を迎えました。設立総

会が開催された会場「八芳園（東京都港区）」にちなんで「東芳会」という名称で親睦活動を図るために、より多くの会員の方に「東芳会」の存在を知っていたことが重要です。

そのために総会・懇親会の開催（毎年10月開催）、会報誌「東芳」の発行（現在81号まで発行、1900部作成）、東芳会ホームページやフェイスブック等情報メディアを通じたコミュニケーションの強化、卒業



埼玉県民活動センターでの講演 三角義明氏(工大B1969)



Zoomオンライン参加者

連絡先:中村 kn@pop17.odn.ne.jp

最近の2年間は新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、対面で飲食を伴う親睦会等の行事を中止していますが、新しい生活様式を踏まえたオンラインによる親睦活動に取り組んでいます。

ZOOMを使ってオンラインミーティングを開始したのは2020年8月。毎月開催して今年5月で21回を数え、TOM(東

学科別交流会の開催、地域部会(千葉・茨城・大宮地区部会)、令和平成部会および女性部会活動の強化の他、ゴルフ・旅行等の親睦活動にも取り組んでいます。

コロナ禍でも活動を継続

東芳会のメンバー以外でも、メンバーのお知り合いの方でテーマに興味のある方は、原則的にミーティングに参加する事が可能です。校友でご興味があればぜひご参加ください。ZOOMを使ったミーティングを実施している支部とは情報交換等ができますと想います。

広いテーマで講話会を楽しく行っています。見聞を広めるため、時折、外部の方をお招きして講話を願っています。また、メンバーの近況報告や情報交換を行ってことで、コミュニケーションの円滑化が図れているのも大きなメリットです。

ミーティングのテーマとしてメンバーの専門的な分野を始め、国内外旅行記、居住地近隣の紹介、少年時代の回想など幅広いテーマで講話会を楽しく行っています。見聞を広めるため、時折、外部の方をお招きして講話を願っています。

また、メンバーの近況報告や情報交換を行うことで、コミュニケーションの円滑化が図れているのも大きなメリットです。



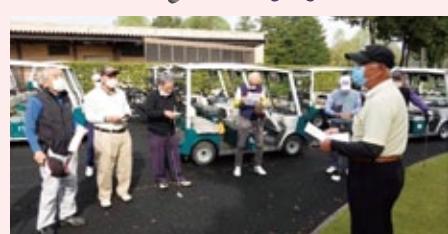
今春、久々のゴルフコンペ開催で元気に再会



2022年4月19日、幹事の片桐幸三氏(工大C1972)のご尽力により、茨城県の猿島カントリークラブで2年ぶりにゴルフコンペを開催しました。

4組15人と多くの校友が参加され、久し振りの再会を喜び合いました。ただ、本来16人の参加申し込みでしたが、榎本正治氏(工大M1962)が開催直前に心筋梗塞で突然亡くなられたという知らせがありました。久し振りにお会い出来ると楽しみしていたところ非常に残念な訃報でした。スタート前に参加者全員で黙祷をして、ご冥福をお祈りました。

コンペは春の清々しく気持ちよいコンディション中でスタートしました。終了後はコロナ対策が十分な広い部屋を貸し切り、お茶とケーキで短時間の表彰式を行いました。中原邦彦氏(工大C1958)は、足を打撲してゴルフはできませんでしたが、他の会員に会いたいという思いから終了後の表彰式に顔を出され、皆さんと歓談されたうえ多額のご寄付をいただきました。また、西村康文氏(工大M1960)は秘伝の黒印肉を皆さんに配り、健康の秘訣を述べておられました。栄えある優勝者は鍛冶秀充氏(工大C1975／グロス94・ネット73.4)でした。健康促進、支部活動にも元気は必要ですね。



スタート前のミーティング



参加者の集合写真

へい、らっしゃい!

Vol.1

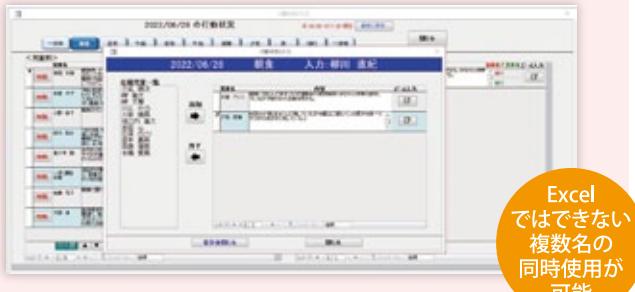
このコーナーでは個人事業主として様々な業界で活躍しておられる卒業生のお仕事をご紹介します。

2008年7月に、マイクロソフトのデータベース管理ソフト「Access」を用いて顧客管理や販売管理などの各種業務用ソフトの開発を手掛けるSPリンクリレーションを大阪市港区で開業。市販のソフトでは解決できない問題を要望に基づいてカスタマイズすることで解決したり、そもそも市販されていない世界に一つしかない専用のソフトを開発するなど、煩雑な業務を効率化する手助けをされています。



SPリンクリレーション
やながわ なおき
代表 柳川 直紀さん
(大阪工業大学 経営工学科 1995年卒)

●日直日誌イメージ(大阪市内の児童養護施設様)



●見積請求管理イメージ(大阪市内の額装メーカー様)



どんな悩みも解決

日々の業務を行う中で、「こんなことができたらいいな」を実現できるのがAccessの最大の特徴。オーダーメイドなのであらゆる要望にも応えることができます。操作はシンプルで直感的に行えるよう配慮し、ソフトの土台となるデータベース部分は正規化を指向した設計です。完成したものはオリジナル品のため、市販品と比べ依頼者の業務に沿った使いやすいものとなります。その結果、業務の効率化、ひいては経営スピードを向上させることができます。ヒアリングから開発まで全て担当されており、期間と費用を確実に抑えることができます。また、無料のAccessランタイム(ソフトの運用に限定したもの)をパソコンにインストールすれば、Accessを新たに購入しなくとも操作環境が手に入ります。

※他社または社員の方が作成されたAccess製ソフトの改修も行っています。



ずっとお客様と共に

これまで約400社にAccessで開発した各種業務用ソフトを納品。完成すればそれで終わりではなく、継続的な関係ができることもこの仕事の醍醐味だと言えます。納品先の方から「前よりも便利になった」、「もうこのソフトがないと仕事ができない」と言われた時が、この仕事をしていて本当に良かったなど感じられる瞬間だそうです。

今ある業務をもっと効率化したい、働き方改革を行いたいと思われている方は、まずは柳川さんに一度ご相談されてみてはいかがでしょうか。



SPリンクリレーション [\[https://www.splr2008.com/\]](https://www.splr2008.com/)

〒552-0004 大阪市港区夕凪2-2-15

TEL.06-6556-6503 FAX.06-6556-6504 E-mail:naoki-splr@plala.to

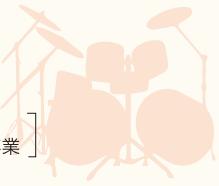
校友スポットライト

校友スポットライトでは、最前線で活躍する校友を紹介。お仕事のことをはじめ、私生活や学生時代のエピソードなどをお聞きします。

CMディレクター・作曲家

かきづばた きよし
杜若 清司さん

[大阪工業大学
工学部 電気工学科 1990年卒業]



♪さ～らりとした梅酒～、♪家電のことならエディオン！などをはじめ、誰もが見たこと、聞いたことのあるCMの数々を手がけてこられた杜若さん。幼少期にはいつも何かを叩いてドラマの真似事をしていたという早熟さ！音楽のエリートコースを歩まれたかと思いつや、挫折と絶余曲折を繰り返して今があるという杜若さんの半生をお話いただきました。

物心つく前から何かを叩いて音を出すのが好きで、幼稚園の時に見たマーチングバンドの小太鼓演奏に憧れ、7歳の誕生日にドラムスティックを買ってもらう。しかしクラブ活動ができる学年になった時、マンモス校だった小学校が分離してブランズバンド部のない分校に。やむなくこの時は電話帳にガムテープを巻いて練習したとか。中学校は新設校で、指導者不在のためブラスバンド部はなし。段ボールでドラムセッットを作りて裏庭で叩く日々を送る。高校こそはと思ったが、なまじ成績が良かつたため推薦入学を勧められ、結局入学したのはブラスバンド部が万年最下位の学校。そのおかげで、ドラムは自由に練習できたそうだ。

「大阪工大の電気工学科には推薦



音楽とバンドに明け暮れていたが、大学の授業はロジカルで楽しいと感じていた理系脳の持ち主。音楽には情緒的な感性も必要だが、秩序やルールに基づいてテンポを合わせる数字の組み立てや構成力も重要な要素で、授業の内容は曲作りに大いに役に立ったという。また、専門科目以外にも人文や国文、哲學など、興味が湧いたものは片端から受けたそう。実は在学中にスタジオ入りしてドラマーとして演奏したり、様々な曲作りに携わっており、4年生の頃にはスタジオドラマーとして契約の話も来ていました。ドラマーになるか、企業に就職するか、研究室の増田先生に相談

ロジカル思考を活かした曲作りが開花

音楽とバンドに明け暮れていたが、大学の授業はロジカルで楽しいと感じていた理系脳の持ち主。音楽には情緒的な感性も必要だが、秩序やルールに基づいてテンポを合わせる数字の組み立てや構成力も重要な要素で、授業の内容は曲作りに大いに役に立ったという。また、専門科目以外にも人文や国文、哲學など、興味が湧いたものは片端から受けたそう。実は在学中にスタジオ入りしてドラマーとして演奏したり、様々な曲作りに携わっており、4年生の頃にはスタジオドラマーとして契約の話も来ていました。ドラマーになるか、企業に就職するか、研究室の増田先生に相談

で受かってしまい(笑)、軽音楽部に入部。やりたかったジャズのできる人はいなかつたが、部室も設備も充実していたので練習し放題だった」と杜若さん。3年生までに卒業に必要な単位はほぼ取得し、空いた時間は音楽に費やす。ハードロック、ポップス、パンクなどいろんなジャンルのバンドを掛け持ちしてドラムを叩き、「城北祭ではバンド掛け持ちしすぎて、ほぼずっとステージにいました」と笑った。

で受かってしまい(笑)、軽音楽部に入部。やりたかったジャズのできる人はいなかつたが、部室も設備も充実していたので練習し放題だった」と杜若さん。3年生までに卒業に必要な単位はほぼ取得し、空いた時間は音楽に費やす。ハードロック、ポップス、パンクなどいろんなジャンルのバンドを掛け持ちしてドラムを叩き、「城北祭ではバンド掛け持ちしすぎて、ほぼずっとステージにいました」と笑った。



これまでの人生に無駄なし
そして新しい世界へと
羽ばたく

したところ「音楽は今でないといけないのか。4年間で学んだことは活かす就職は今しかできないのではないか」と言われ、働きながら趣味でドラムを続けていこうと決意。地元の京都に本社があるローム株式会社に就職し、ICユニットの設計などに携わりながら社会人としての基礎を身につけたといふ。

第105回 大淀会ゴルフコンペ開催のご案内

3年ぶりとなる大淀会ゴルフコンペを今秋開催します。今回は校友会単独での実施となります。皆様お説教合せのうえぜひご参加ください。

開催日 2022年11月16日(水)

会場 調整中(決定次第ご連絡いたします)

募集定員 50名程度を予定(先着順受付)

お問い合わせ 常翔学園校友会事務局

TEL:06-6955-6662

E-mail:office@oitaa.com



発行所 常翔学園校友会
発行人 会長 溝口 浩
事務局 〒535-0003
大阪市旭区中宮5-16-29 学園・大宮西校地 本部棟2階
Tel. 06-6955-6662 Fax. 06-6955-1412
E-mail office@oitaa.com
URL https://www.oitaa.com

制作・印刷 株式会社ディーズクリエーション